

## 「日本エンドオブライフケア学会誌」 投稿規程

### 1. 投稿者の資格

投稿者は、著者、共著者ともに原則、本学会会員とする。ただし、共著者については、非会員であっても投稿論文を受け付ける。その場合には、1編に付き投稿料(8,000円)を徴収する。

### 2. 投稿原稿の内容と原稿の種類

- 1) 投稿は他誌に未発表で、投稿中でないものに限る。ただし、学術集会での発表は未発表とみなす。
- 2) 原稿の内容はエンドオブライフケアに関連したもので、学会設立の主旨に沿ったものとする。
- 3) 原稿の種類は、総説、原著論文、研究報告、実践報告、資料、事例報告、その他である。
- 4) 本文の言語は和文または英文とする。英文(本文、要旨とも)は、原則としてネイティブチェックを受けるものとする。
- 5) 投稿者は、投稿時に以下の希望する原稿の種類を記載する。ただし、査読者および編集委員会の勧告により希望どおりの原稿種別の採用にならない場合がある。
- 6) 原稿の種類

#### ①総説 Review Article

エンドオブライフケア学に関する特定のテーマについて、文献等の知見を多面的・系統的に概観し、総合的に考察した論文。

#### ②原著論文 Original Article

エンドオブライフケア学に関する論文のうち、学術の発展に貢献する独創性の高い論文であり、新規性のある知見と実践への示唆が論理的に述べられている論文。

#### ③研究報告 Research Report

エンドオブライフケア学に関する論文のうち、原著論文には及ばないが、エンドオブライフケア学の研究として意義がある論文。

#### ④実践報告 Practical Report

エンドオブライフケアの実践・教育の向上に寄与

し、学術的に有用性が認められる実践を報告している論文。

#### ⑤資料 Material

上記以外におけるエンドオブライフケアの研究や知見に関するものとして、編集委員会が認めたもの。

#### ⑥事例報告 Case report

エンドオブライフケアの実践・教育の向上に寄与する実践内容を含む事例の報告。

#### ⑦その他 Others

上記のいずれにも相当しないが、編集委員会で公表する価値を認めたものとする。

### 3. 研究倫理

倫理的に配慮された内容を本文中に明記する。投稿者所属の施設もしくは研究参加者が所属する施設の研究倫理審査委員会で承認された場合は、研究倫理審査委員会での研究実施許可(承認)番号等も本文中に明記する。

事例報告を投稿の場合で、投稿者の所属先に研究倫理審査委員会等がない場合、「日本エンドオブライフケア学会学術集会発表および学会誌投稿における倫理指針」を参照し、研究対象事例に関連する人に対する配慮をどのように行ったかについて明記する。

### 4. 研究における利益相反

利益相反となるような外部との利益関係等がある場合、その旨を本文に明記する。また、利益相反関係がない場合には、「本研究における利益相反は存在しない」旨を本文に記載する。

### 5. 原稿の受付および採否

- 1) 投稿手続きを経た原稿の到着日を受付日とする。(受付日と到着順に付す受付番号を、投稿者に通知する)
- 2) 投稿原稿の採否および原稿の種類は査読を経て

編集委員会が決定する。

3) 編集委員会の判定により、原稿の修正および原稿の種類の変更を著者に求めることがある。

## 6. 執筆要領

1) 投稿原稿は、A4 版縦位置横書き、上下左右余白 30mm、1 頁 35 字×28 行、英文はダブルスペースとする。和文は MS 明朝 10.5 ポイント、英文フォントは Times New Roman、文字の大きさは 12 ポイントとする。

2) 投稿原稿の 1 編は本文、文献、図表を含めて下記の枚数以内とする。これを超えるものについては受領しない。

総説	12 枚以内(12,000 字以内)
原著論文	16 枚以内(16,000 字以内)
研究報告	16 枚以内(16,000 字以内)
実践報告	12 枚以内(12,000 字以内)
資料	12 枚以内(12,000 字以内)
事例報告	12 枚以内(12,000 字以内)
その他	12 枚以内(12,000 字以内)

3) 原著論文・研究報告の原稿には、和文要旨(400 字以内)と英文要旨(250Words 以内)をつける。要旨は可能な限り、【目的】、【方法】、【結果】、【結論】の見出しをつけて記載する。英文の場合には、【Purpose】、【Methods】、【Results】、【Conclusions】とする。キーワードは、和文および英文の要旨の最後に改行して 5 つ以内の和文キーワードと英文 Key words をつける。

4) 実践報告・資料・事例報告の原稿には、和文要旨(400 字以内)をつける。要旨は可能な限り、【目的】、【方法】、【結果】、【結論】の見出しをつけて記載する。キーワードは、要旨の最後に改行して 5 つ以内の和文キーワードをつける。

5) 図・表は、本文中の出現順に図 1、表 1 から連番を付け、A4 用紙に 1 枚ずつ作成し、本文とは別に別紙で添え、図・表の挿入箇所を本文原稿右欄外にそれぞれ挿入位置を指定する。

6) 文献記載方法は以下に従う。

### (1) 文献書式

原則として APA (The American Psychological Association) スタイルに準拠する。

参考図書：アメリカ心理学会 (APA) 著/前田樹

海, 江藤裕之, 田中建彦訳 (2014). APA 論文作成マニュアル, 第 2 版. 東京: 医学書院

### (2) 本文末の文献リストの記載について

各文献記載については、1 文献が 2 行目以上にわたる時は 2 行目以降の開始を全角 2 文字下げる。

#### ① 雑誌

著者名(出版年). 論文タイトル. 雑誌名, 巻(号), 最初のページ-最後のページ.

#### ② 図書

a) 著者名(出版年). 書名. 引用ページ, 発行地: 出版社.

b) 著者名(出版年). 章タイトル(編者名). 書名. 引用ページ, 発行地: 出版社.

#### ③ 翻訳書

原文著者名(発行年) / 翻訳著者名(訳)(発行年). タイトル-サブタイトル, 引用ページ, 発行地, 出版社.

#### ④ インターネットのウェブサイトからの文献

著者名(出版年). 論文名. 雑誌名. 巻(号), ページ, URL (閲覧年月日)

## 7. 投稿手続きおよび原稿の受付

投稿時には、以下の書類をそれぞれ PDF ファイルにし、ファイル名を「会員番号\_様式 1」とする。それぞれの PDF ファイルを入れたフォルダを作成し、編集事務局:<jseolc-edit@bunken.co.jp>宛のメールに添付して送信する。メールの件名とフォルダ名は「投稿原稿会員番号(投稿日)」と記載する。

### ① 著者リストならびに代表者連絡先(様式 1):

会員番号\_様式 1.pdf

### ② 投稿原稿(表紙を含む)(様式 2):

会員番号\_様式 2 と本文.pdf

本文中の投稿者の氏名、および所属、謝辞、倫理委員会名など投稿者が特定される可能性のある内容をすべて削除する。なお、正式に掲載が決定された際には、上記を含んで投稿する。

### ③ 図・表:

会員番号\_図.pdf, 会員番号\_表.pdf

### ④ 著作権譲渡同意書(様式 3):

会員番号\_様式 3.pdf

### ⑤ 著者の利益相反申告書(様式 4):

会員番号\_様式 4.pdf

⑥投稿論文チェックリスト(様式5):

会員番号\_様式5.pdf

## 8. 著作権

本学会誌に掲載された論文等の著作権は本学会に帰属する。投稿論文等に他者に帰属する資料等を使用した場合や転載のある場合は著者がその著作権者に使用または転載許可についての申請手続きを行った上で投稿する。

本誌に掲載された論文等を所属機関のリポジトリ等に収載する場合は、学会事務局に連絡する。

## 9. 著者校正

査読を経た最終原稿の印刷の著者校正は2回とする。校正時の原稿の加筆は原則として認めない。

## 10. 掲載料

- 1)掲載可となった論文1編につき、5,000円の掲載料を徴収する。
- 2) 図・表でカラー刷りを希望する場合は、別途負担とする。
- 3)別刷代は全額著者負担とする。

## 附則

この規程は、2023年8月19日から施行する。

## 連絡先

ご不明な点は下記連絡先までご連絡ください。

一般社団法人 日本エンドオブライフケア学会 (The Japan Society for End-of-Life Care) 編集事務局 e-mail: jseolc-edit@bunken.co.jp
---